

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔科目名： 現代の国語 〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：『新編現代の国語』大修館〕〔使用副読本：『新編現代の国語』学習ノート〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前期	1	「『変わる』ことを楽しもう」	これからの学習に取り組みたいこと、興味のあることについて自分の考えを見つめ	P12～P15	P6～P7
	2	『文を整え、文をつなぐ』	文章の組み立てについて、気を付けるべきことと、文の整え方、文のつなぎ方を学	P32～P35	P18～P21
	3	「病院は『繁栄』するのか」	言葉についてさまざまな角度から考え、言葉を適切に活用する力をつけよう。	P41	P25
	4	『商品と贈り物の違い』	対比関係を意識しながら読む。	P89～P92	P58～61
	5	『対話のレッスン』	相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを知る。	P120～P123	P74～P75
	6	「人間だけが『話し合い』を選べる」	コミュニケーションのヒントをつかみ、周りの人たちと向き合う。	P132～P133	P79～P80
	7	『情報の力関係』	図との関係に注意しながら、文章を読み取る。	P156～P159	P96～P97
	8	『相手を動かす依頼文を書こう』	内容を上手に伝え、了承してもらえるような依頼文の書き方を学ぶ。	P190～P196	
	9	『パン屋の手紙』	依頼文の実例を読み、依頼文の重要性を知る。	P197～P199	P108～P109
	10	1～6回目の復習や理解を深める授業内容とする。			
	11				
	12				

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前半	1	・「『変わる』ことを楽しもう」	5/8
	2	・『文を整え、文をつなぐ』 ・「病院は『繁栄』するのか」	
	3	・『商品と贈り物の違い』	
後半	4	・『対話のレッスン』 ・「人間だけが『話し合い』を選べる」	6/5
	5	・『情報の力関係』	
	6	・『相手を動かす依頼文を書こう』 ・『パン屋の手紙』	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 言 語 文 化 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 新 編 言 語 (東 京 書 籍) 〕 〔 使 用 副 読 本 : 新 編 言 語 文 化 学 習 ノ ー ト (東 京 書 籍) 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	『さくらさくら』	随筆とは何かを学び、作品に触れ、筆 考えなどを読み取る。	P10-17	P4-8
	2	『とんかつ』	作品に触れ、登場人物や誰の視点で描 ているかなどを考え理解を深める。	P24-35	P12-15
	3	『柳あをめる』 『冬が来た』	言葉のリズムや響きを通じて、深い情 発見を表現することを身に付ける。	P50-52 P58-59	P19-21 P25
	4	『夢十夜』	夏目漱石への理解を深め、近代文学へ 興味・関心を深めていく。	P94-103	P33-36
	5	『児のそら寝』	古典入門として、古文の読み方等理解 深める。	P122-123	P48-55
	6	『漢文入門』	漢文の読み方など理解を深める。	P209-215	P96-97
	7	『五十歩百歩』	漢文のルールなどを理解を深めた上 故事成語を読み解いていく。	P222	P102-103
	8	復習			
	9				
	10				
	11				
	12				

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	『さくらさくら』	5/8
	2	『とんかつ』	
	3	『柳あをめる』 『冬が来た』	
後 半	4	『夢十夜』	6/5
	5	『児のそら寝』	
	6	『漢文入門』 『五十歩百歩』	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 論 理 国 語 a 〕

〔 単 位 数 : 2 単 位 〕

〔 使 用 教 科 書 : 新 編 論 理 国 語 (大 修 館 書 店) 〕

〔 使 用 副 読 本 : 新 編 論 理 国 語 ワークブック (大 修 館 書 店) 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	知の登山、知の水路	「学ぶこと」について筆者の考えを読み取り、な	12～17	6～9
		汐見稔幸	ぜ学ぶのかということを考え視野を広げる。		
	2	ウサギの耳はなぜ長い？	筆者の主張を正確に読み取り、文章の	32～41	20～23
		上田恵介	をつかむ。		
	3	対話の精神	言葉は、言葉そのもの江尾認識したり	58～66	34～37
		平田オリザ	したりする働きがあることを理解す		
	4	人口の自然	文章の構成や展開のしかたに注目しな	82～88	48～51
		坂村健	ら、筆者の主張を読み取る。		
	5	量の時代から質の時代へ	様々な統計資料を本文と関連付けなが	114～117	68～71
		甲斐かおり	読む。		
	6	紙の本はなくなるならない	異なる立場の文章を比べて読み、考え	130～137	82～85
		内田樹	深める。		
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	「知の登山、知の水路」	5/8
	2	「ウサギの耳はなぜ長い？」	
	3	「対話の精神」	
後 半	4	「人口の自然」	6/5
	5	「量の時代から質の時代」	
	6	「紙の本はなくなるならない」	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔科目名：文学国語a〕〔単位数：2単位〕

〔使用教科書：新編文芸国語（大修館書

〔使用副読本：新編文学国語学習ノート（大修館書店）〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	「そとみとなかみ」角田光	・文章の種類を踏まえ、内容や構成、 開、描写の仕方を的確に捉える。	27～33	16～19
	2	「児の飴食ひたること」沙石集 「永訣の朝」宮沢賢治	・文学的文章やその種類、特徴などに て理解を深める。	72～73 80～81	35 40～41
	3	「山月記」中島敦	・作品に興味を持ち、小説の文体や登 人物の心情を読み取る。	90～109	44～47
	4	「神去なあなあ日常」 三浦しをん	・登場人物の描写から場面ごとの心情 読み取る。	120～133	54～57
	5	「はしたなきもの」枕草子 「行く河の流れ」方丈記	・文学的文章やその種類、特徴などに て理解を深める。	178 180～181	78 80～81
	6	「さくら日和」辻村深月	・登場人物の描写から場面ごとの心情 読み取る。	184～195	82～85
	7	以降の授業は適宜復習と発 の内容を行う。			
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	「そとみとなかみ」角田光 ・本文の内容理解	5/8
	2	「児の飴食ひたること」沙石集 「永訣の朝」宮沢賢治 ・本文の内容理解	
	3	「山月記」中島敦 ・本文の内容理解	
	4	「神去なあなあ日常」 三浦しをん ・本文の内容理解	
	5	「はしたなきもの」枕草子 「行く河の流れ」方丈記 ・本文の内容理解	
	6	「さくら日和」辻村深月 ・本文の内容理解	
後 半	7		6/5
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔科目名：国語表現a〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：国語表現（東京書籍）〕〔使用副読本：国語表現ワークブック（東京書籍）〕

学 期	授業回	項目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前	1	分かりやすく説明しよう1 情報の伝達	情報を整理して伝達する基本を学ぶ。	p16～p32	p8～p21
	2	分かりやすく説明しよう2 情報の整理	文章を読み、情報を整理する方法を 理解する方法を学ぶ。	p16～p32	p8～p21
	3	「問い」を考えよう1 インタビューの方法	インタビューをするために必要な質問 基本的な方法を学ぶ。	p46～p65	p28～p41
	4	「問い」を考えよう2 敬語	電話やインタビューの際に必要な 敬語について学ぶ。	p46～p65	p28～p41
	5	「問い」を考えよう3 メール、手紙の書き方	メールや手紙の形式や方法を学ぶ。	p46～p65	p28～p41
	6	前半レポートまとめ	レポート第1～3回目の内容の復習	p16～p65	p8～p41
期	7	「自分」を表現しよう1 自己理解	長所、短所を知るなど自己分析の方法 学ぶ。	p66～p81	p42～p55
	8	「自分」を表現しよう2 自己PR	進学や就職に必要な自己PRを書くため 基本的な方法を学ぶ。	p66～p81	p42～p55
	9	論理的な文章を書こう1	論理的な文章について、基本的な形式 方法を学ぶ。	p82～p111	p56～p75
	10	論理的な文章を書こう2	図から内容を読み取り、それに対する 自分の意見を考える。	p82～p111	p56～p75
	11	論理的な文章を書こう3	自身の長所や短所を元に、自己PR型小 を書くための構成メモを作る。	p82～p111	p56～p75
	12	後半レポートまとめ	レポート第4～6回目の内容の復習	p56～p111	p42～p75

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	・「分かりやすい説明」の ポイントを知る。 ・接続後を理解する。	5/8
	2	・インタビューのポイント を知る。 ・基本的な 質問の種類と 目的、注意点を学ぶ。	
	3	・基本的な手紙の書き方、 ・メールを書くときのポイ ントを学ぶ。	
後 半	4	・問いかけによって自己分 し、長所や短所を知る。 ・自分自身についてを言語化 する。	6/5
	5	・小論文の特徴を知る。 ・図表の種類や特徴、見方 学ぶ。	
	6	・論理的文章の特徴を知 ・自己PRを考える。	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 古 典 探 究 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 大 修 館 書 店 「 精 選 古 典 探 究 」 〕 〔 使 用 副 読 本 : 大 修 館 書 店 「 精 選 古 典 探 究 学 習 ノ ー ト 」 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前	1	宇治拾遺物語	話の舞台や背景に注目し、登場人物の	p12～p13	p6～p7
		『検非違使忠明のこと』①	に注意して読み、話の展開を把握す		
	2	宇治拾遺物語	和歌の文化的背景とそれに携わる人物	p12～p13	p6～p7
		『検非違使忠明のこと』②	をふまえ、人物の行動や心情を読み取		
	3	伊勢物語	歌物語の特徴、和歌と地の文の関係や	p36	p24
		『月やあらぬ』①	表現技巧を理解し味読する。		
期	4	伊勢物語	登場人物の行動や心情から、当時の人	p36	p24
		『月やあらぬ』②	生き方や考え方を理解する。		
	5	『画竜点睛』	故事成語の意味の成り立ちを理解し、	p209	p117
			・逸話の叙述のおもしろさを味読す		
	6	『両頭蛇』	故事成語の意味の成り立ちを理解し、	p210	p118
			・逸話の叙述のおもしろさを味読す		
	7	土佐日記	作品の持つ虚構性を理解し、和歌など	p62～p63	p40～p41
		『羽根』①	作品の心情を味わって読む。		
	8	土佐日記	作品の持つ虚構性を理解し、和歌など	p62～p63	p40～p41
		『羽根』②	作品の心情を味わって読む。		
	9	大鏡	『大鏡』の構成と内容、歴史物語とし	p136～p139	p81～p82
		『肝だめし』①	特色を理解する。		
	10	大鏡	登場人物の関係、その行動や心情をと	p136～p139	p81～p82
		『肝だめし』②	え、作者の考えを考える。		
	11	『峨眉山月歌』	韻文の訓読を通じて、我が国の伝統的	p219	p125
			言語文化を尊重する態度を涵養する。		
	12	『早発白帝城』	韻文の訓読を通じて、我が国の伝統的	p220	p126
			言語文化を尊重する態度を涵養する。		

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	・ 古典単語の学習。	5/8
		・ 本文の内容理解。	
	2	・ 古典単語の学習。	
		・ 本文の内容理解。	
後 半	3	・ 漢文の読みと意味の理	6/5
		・ 本文の内容理解。	
	4	・ 古典単語の学習。	
		・ 本文の内容理解。	
	5	・ 古典単語の学習。	
		・ 本文の内容理解。	
	6	・ 漢文の読みと意味の理	
		・ 本文の内容理解。	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔科目名：漢字能力演習〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：なし〕〔使用副読本：漢検分野別問題集3級〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前期	1	漢字能力演習の科目について	漢字能力検定の概要		
			漢字の成り立ちについて		
	2	漢字の読み	漢字の音読み・訓読みについて		P4～P41
	3	漢字の部首	部首の成り立ちについて		P42～P57
	4	熟語の理解	熟語の構成		P64～P75
			熟語の作成		
	5	漢字能力検定過去問模試①	漢字能力検定3級模試		
	6	対義語・類義語	漢字の対義語・類義語について		P76～P91
後期	7	漢字能力検定過去問模試②	漢字能力検定3級模試		
	8	四字熟語	四字熟語の組み立てについて		P92～P107
	9	漢字能力検定過去問模試③	漢字能力検定3級模試		
	10	同音・同訓異字	同音異字・同訓異字について		P120～P129
	11				
	12				

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	・ 音読み、訓読み ・ 漢字の部首 ・ 熟語の理解・構成 ・ 対義語・類義語 ・ 四字熟語 ・ 送りがな ・ 同音・同訓異字 ・ 漢字の書き取り	5/8
	2		
	3		
後 半	4	・ 音読み、訓読み ・ 漢字の部首 ・ 熟語の理解・構成 ・ 対義語・類義語 ・ 四字熟語 ・ 送りがな ・ 同音・同訓異字 ・ 漢字の書き取り	6/5
	5		
	6		